

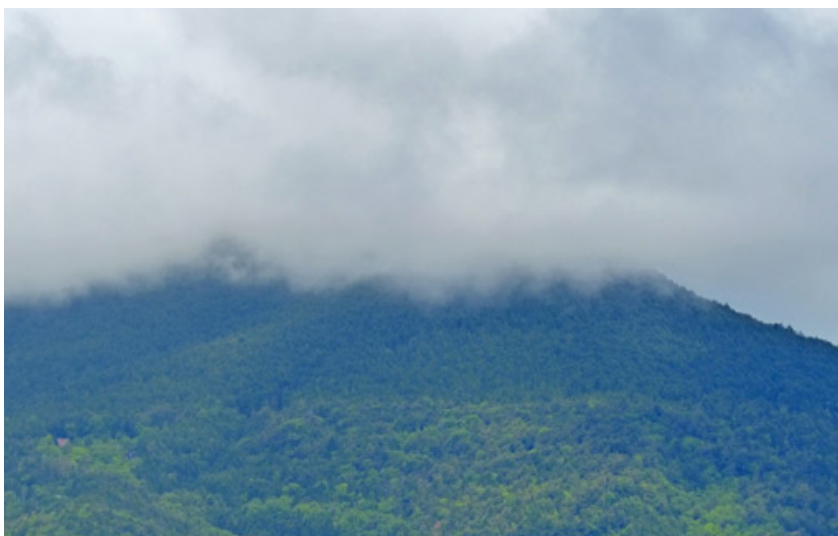
5504 **げーぶる** 迎古中山道ママチャリ旅：中山道大井上宿・石仏群 066

.....

やがて峠道へ。ここでも、出会いがあった。昔の人は、神仏に病気の治ることを祈ったり、**村境**に地藏菩薩を立てて、病魔が村へ入らないように願うことが多かった。

やがて、見晴らしのいい場所に到達。ここは**上宿**で、**大井宿を一望できる位置**にある。

宿の人たちは、ここを宿場外れとして、数多くの石仏を立て
病氣平癒とともに、**悪病や悪人の侵入を防ぎ、宿内の無事息災を祈った**とのこと。



～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

石仏の取材画像は、ご想像を。特に、ここにある痰切地蔵は「がいき（風邪）をひいたら、たんきり地蔵さまに拝め」といい、昔から多くの参拝者があったらしい。

一番左側に立つ碑の徳本は、紀州（和歌山県）日高で、宝暦8年（1758年）に生まれ、文化・文政（1801～1830）の頃、この地に来て、

念仏教化を行い、多くの信者を得た高僧であると、いろいろ説明があった。

画像記録しておくことで、こうした紹介もできる。

大井宿の建物が遠くに見える。思い出に残る、良い時間を持つことが出来た。

峠道、名残が尽きないが、次へ。

